

研究協力のお願

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 脳神経外科学教室 放射線腫瘍学教室 関西 BNCT 共同医療センター

記

研究の名称	脊椎脊髄腫瘍画像を基にホウ素中性子捕捉療法の有用性・安全性や適応可能性を探る研究
対象	2013年1月1日から2025年3月31日までの期間に脊椎脊髄腫瘍をお持ちの患者さんの画像データを研究に利用いたします。本学では、30例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日(2023年10月13日) ~ 2028年3月31日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：脊椎脊髄腫瘍は稀な疾患ですが、患者さんの生命予後や生活の質に大きく影響を及ぼす可能性があります。手術や放射線化学療法が難しい場合も多く、新しい治療法が求められています。現在、ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)が、その新たな治療法として注目されています。この研究の目的は、脊椎脊髄腫瘍患者さんの画像データを基に、BNCTの治療計画を立て、その有効性や安全性を詳しく評価することです。患者さんからの画像データを利用して、BNCT治療計画を策定します。その上で、腫瘍だけでなく、周辺の正常組織やリスクを伴う臓器への放射線照射量を詳細に計算します。その結果をもとに、最も効果的かつ安全な治療計画の提案を目指します。</p> <p>利用方法：患者さんの画像情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結</p>

	<p>果は学会や学術誌で発表される予定です。</p> <p>利用又は提供の開始予定日：2023年10月13日</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>情報：画像検査データ（X線・CT・MRI画像）</p>
<p>利益相反について</p>	<p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。</p> <p>当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。</p>
<p>研究者名</p> <p>【研究責任（代表）者】</p> <p>大阪医科薬科大学 脳神経外科学 特別職務担当教員（教授） 高見 俊宏</p>	
<p>参加拒否の申し出について</p> <p>ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>	
<p>問い合わせ窓口</p> <p>〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号</p> <p>大阪医科薬科大学 脳神経外科学教室・放射線腫瘍学教室・関西 BNCT 共同医療センター</p> <p>担当者 藤川 喜貴</p> <p>連絡先 072-683-1221（代） 内線 56665</p>	

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 高見 俊宏 殿

研究の名称	脊椎脊髄腫瘍画像を基にホウ素中性子捕捉療法の有用性・安全性や適応可能性を探る研究
-------	--

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者

住所

氏名（自署）

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）